

子ども見守り隊と 登校グループ班長・副班長との連絡会議

5月29日（日）

《参加者》見守り隊 14人：登校班長・副班長 14人
子ども会育成会 3人

新学年が始まって1ヶ月半。子ども達もそろそろ学校や新しいクラスに慣れてきた頃です。今年も子ども見守り隊と登校グループ班長と副班長、子ども会育成会の役員が集まり、それぞれの立場で意見の交換や要望を話し合いました。

はじめに参加者全員に「通学路ヒヤリハット」というイラストマップを見て、危ないと思うところを探すクイズを行い、子ども達は手を挙げて答えていました。子ども達はイラストマップの中ではよく気が付いているのですが毎日の登下校では、つい慌てたり、おろそかになる事もあります。信号の青だけを見て車の動きに目が行かなくなったり、事故は特別の事であって起きないのが当たり前と考えていると思います。

しかし、現実には各地で交通事故が毎日起きており、人々がそれぞれの想いで道を通っている事を考えれば無理な事かもしれません。毎日無事に登下校出来るのは有難いことで、登下校の途中で元気なあいさつを交わすことも事故を防ぐことにもなります。



青葉台の子ども見守り隊は長い間続いており、中には平成20年以前から続けている方もおられます。当時の見守り隊の頃に入學した子どもが卒業して、社会の一員となっているのを思うと感無量と言った方がおられました。

自分の出来る範囲で地域に役立つことを考えて、毎日の登下校を見守っている人達で、常に他人のために何かしてあげようとする気持ちではないでしょうか。